

# 週報

2011.7～2012.6

## 国際ロータリー第2730地区 佐土原ロータリークラブ 第1218回 平成24年7月4日(水)

2011～2012年度  
ロータリーテーマ



### 本日のプログラム

1. 点鐘 国歌斉唱
2. ロータリーソング「我らの生業」
3. 四つのテスト
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 出席報告
7. 7月のセレモニー
7. 委員会報告
8. 3役就任の挨拶「会長・幹事・会計」
9. 次週例会案内「SAA」
10. 点鐘

2730地区ガバナー 山下 皓三  
中部分区ガバナー補佐 池田 豊繁  
RT会長テーマ

「奉仕を通じて平和を」

2730地区テーマ

「夢・誇り・挑戦 すばらしいロータリーへの再生」

佐土原テーマ

「 」

7月のテーマ

「 」

### 7月度の例会予定

7月4日(水)・・・「1218回」新任の挨拶

7月のセレモニー・理事役員会

7月11日(水)・・・「1219回」

7月18日(水)・・・「1220回」

7月25日(水)・・・「1221回」

会長：荒武 義博  
副会長：村上 實  
幹事：永野 陽子  
会報委員長：藤堂 孝一  
会計：梶田與之助  
事務局：吉野由里子  
宮崎市佐土原町下田島  
11703-18

TEL：0985-62-7833

FAX：0985-62-7877

例会日：毎週水曜日

例会場：

サンホテルフェニックス

TEL：0985-21-1313

### 第1217回の記録 会長の時間

平成24年6月27日

＜荒武 義博 会長＞

本日は、2011～2012荒武年度の第1217回最後の例会となりました。非常に残念ではありますが、この場を次期村上会長にお譲りします。・・・

それでは、本日のお客様をご紹介します。

佐土原RC育ての親とも言える、山脇 名誉会員です。そして、今日は家族を交えた夜間例会です。数名の会員が奥様、



ご子息を例会に参加頂いています。有り難うございます。今日は、時間の許す限りどうぞ楽しんで下さい。

省みますと、あっというまの1年でしたが、いろんなことがありました。第1170回の新任挨拶に始まり、無事に第1217回の退任の例会挨拶となりました。通算47回もの会長挨拶をさせて頂きました。貴重な体験をさせて頂きましたことに御礼申し上げます。

新会員の奥様も今日はお見えですから、改めまして、ロータリークラブとは、どんなクラブなのかをちょっと話してみたいと思います。

ロータリークラブとは、国際的な「社会奉仕」連合団体「国際ロータリー」のメンバーである単位クラブである。

○奉仕とは（報酬を求めず、また他の見返りを要求することなく、無私な労働を行うことをいう。）

○国際ロータリーとは（世界各地のロータリークラブを会員とする連合組織である。）

○ロータリーのシンボルマークは

（1905年最初のクラブが、例会場所を輪番（ローテーション）で提供しあったことから「ロータリー」と命名し輪番・回転にちなみ、6本スポークの歯車がシンボルマーク（エンブレム）である。）

○会員数は、クラブ数は、いま世界中にまた、日本ではいくつあるのか？

「国際ロータリー」は世界初の奉仕クラブ団体であり、200以上の国と地域に33,000近くのクラブを擁し、会員数は120万人以上である。

日本では、1920年、当時三井銀行の重役であった米山梅吉等が、東京都に日本初のロータリークラブを世界で855番目の認証クラブとして東京ロータリークラブが創立されて以来、戦後会員を拡大し世界第2のロータリー国となるが、近年に至り経済情勢の変化さらに震災等の影響からか会員数は、減少傾向にある。現在クラブ数2,301クラブ、会員数89,249人ちなみに日本国の855番目

のクラブは宮城県南部沿岸亘理町の亘理ロータリークラブである。3.11東日本大震災で被害を受けたがクラブは存続され地域奉仕の活動も継続して行われ会員数の減少もしていないという。

ここにおられる会員、家族の方に言いたいことは、世界で、国内でこれだけの会員数を有する団体（RC）のクラブであるロータリークラブの会員であることの自覚と誇りを持つべきだと思います。

それには、ロータリアンとしての資質を向上させるべく、日々の生活において努力を惜しまないことを忘れないで下さい。このことは、自分自身にも言えることです。・・・その行動基準として、ロータリアンとしてどうあるべきか？ロータリーの綱と四つのテストに示されています。

綱領（目的）

有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項目を鼓吹、育成することにある。

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること。

2. 自己の事業と専門職務の道徳的水準を高めること。

（要約）

3. 個人生活、事業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。

4. 国際間の理解と親善と平和を推進すること。（要約）

四つのテスト（ロータリアンの行動基準）

言行（言行一致でなければいけない）はこれにてらしてから“Of the things we think, say or do”

1. 真実かどうか “Is it the TRUTH ?”

2. みんなに公平か

“Is it FAIR to all concerned ?”

3. 好意と友情を深めるか “Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS ?”

4. みんなのためになるかどうか “Will it be BENEFICIAL to all concerned ?”

ロータリーの話は、これくらいにしまして・・・ある人の講演会から「ちょっといい話を」という内容の話を最後に、ご紹介します。

話は、1980年代に遡りますが、今から32年くらい前の話です。

この頃、サッカー界では日本サッカーをプロ化しようという機運が盛り上がってきたそうです。それとともに、プロリーグ準備検討委員会という組織が設けられ、議論を重ねたんだそうです。

しかし、こういう改革の時には、反対勢力や抵抗勢力が現れるのは世の常です。おそらく、皆様も仕事をする中で、そういう場面に出くわしたことが少なからずあるのではないのでしょうか。サッカーのプロ化の議論の際にも、例外なく、山のような反対勢力や抵抗勢力が現れたそうです。

・・・次頁へ

そして、1990年代に入っのある会議で、サッカー協会の幹部がこう言ったそうです。

「サッカーのプロ化？ちょっと待て。景気も悪くなってきた。どこの企業がサッカーなんかにカネを出すんだ。時期尚早じゃないか」

すると、もう1人の幹部が立ち上がり、こう言いました。「そうだ。日本にはプロ野球がある。サッカーのプロ化で成功した例なんてない。前例がないことをやって失敗したらどうするんだ。誰が責任を取るんだ」

そのときです。ここで、川淵キャプテンはいきなり立ち上がり、きっぱりとこう言われたそうです。

「時期尚早と言う人間は、100年経っても時期尚早と言う。前例がないと言う人間は、200年経っても前例がないと言う。」

そもそも、時期尚早と言う人間は、やる気がないということなんだ。でも、私にはやる気がありますとは情けなくて言えないから、時期尚早という言葉でごまかそうとする。前例がないと言う人間は、私にはアイデアがないということなんだ。でも、私にはアイデアがありますとは恥ずかしくて言えないから、前例がないという言葉で逃げようとする。

大体、仕事のできない、自らの仕事に誇りと責任を持ってない人に限って次から次へと、できない理由ばかり探し出してくる。仕事でも、遊びでも、RC活動でも出来ない事にチャレンジをして、出来るようにすることが大事なんだと力説された結果

この一言がきっかけになって、「よし、じゃあもう1回、サッカーのプロ化に向かって頑張ってみようじゃないか」という機運が再びみなぎり、1992年の秋にJリーグの公式戦、カップ戦がスタートし、93年の春にはレギュラーシーズンがスタートしたわけです。このことが無ければJリーグの発足も無かったでしょうし、日本サッカーのW杯出場が当たり前になることも無かったでしょうし、2002年に日韓W杯が招致されることもなかったでしょうし、サッカーの人气がプロ野球を凌ぐほどになるなんてあり得なかったことだと思います。

抵抗勢力や反対勢力を押し切るリーダーシップ。

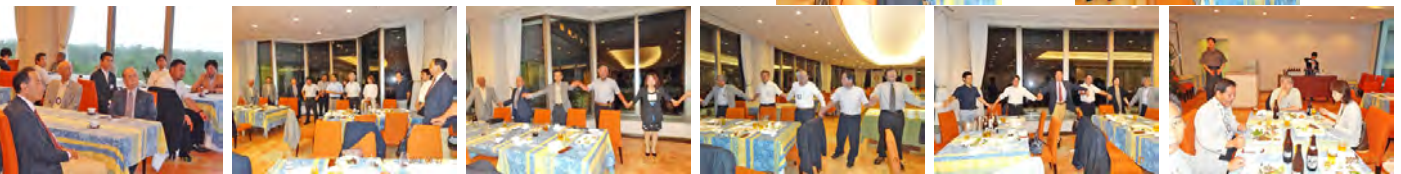
このことは、置き換えれば皆さんの仕事に、ロータリー活動に於いても言えることではないでしょうか？

自分自身も肝に銘じて、これからの人生を前向きに生きていきたいと思います。

最後に、本日おいで頂きました会員の奥様方に深く感謝申し上げます。これからもロータリー活動の、善き理解者でいてくださることをお願い致します。山脇名誉会員に於かれましては、お時間の許される限り例会にお越しいただき、ご指導を宜しくお願い申し上げます。

これで、2011～2012年度の佐土原RC会長としての会長退任の挨拶と致します。

三役の永野幹事・梶田会計を始めとする全会員の方々、事務局の吉野さん、1年間、支えていただき有り難うございました。



## 幹事報告

<文書>

※出席小委員会アンケート提出のお願い

※ロータリー情報小委員会アンケート提出のお願い

※フェロシップ小委員会アンケート提出のお願い

< 幹事 永野 陽子君 >



## 出席報告 < 出席委員長 吉田 康一郎 君 >



|        |                     |
|--------|---------------------|
| 会員数    | 24名                 |
| 出席免除   | 3名<br>(正岡君・梶田君・佐藤君) |
| 出席者数   | 21名                 |
| 欠席者数   | 3名                  |
| 有届け者   | 佐藤君・正岡君・林君          |
| メイク使用～ | 2名                  |
| 無断欠席者  | 無                   |
| 出席率    | 100%                |
| 修正出席率  | 100%                |

## 委員会報告

6月25日(月)高鍋にて次年度ガバナー公式訪問3クラブ合同開催の打ち合わせ会が行われました。決定事項がいくつかございます。詳細はまとめて皆様へご報告いたします。

会長エレクト 村上 實君



## 例会・年度末懇親会の様子



## 四つのテスト

「言行はこれに照らしてから」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

## MEMO